

イノベーション力の向上

AI が普及した世界でリードするために、組織の DNA にイノベーションを組み込む方法

次のステップはもう始まっている

デジタルの世界では、変化のペースが遅くなることはなく、ディスラプションは想定内の出来事です。現在最も成功している組織は、迅速かつ効率的に反応することで、競争上の優位性を生み出しています。しかし、Dell の 2023 年版 Innovation Index によれば、情報に基づいたスマート リスクを取り、俊敏性を維持し、ビジネスの成長を促進するための適切な人材戦略、テクノロジー、プロセスを有する「革新的」な組織に分類できる企業はわずか 18% です。ほとんどの組織が苦戦しています。

より多くの組織がイノベーション リーダーになれるよう支援するために、Innovation Catalysts という新しい調査を実施しました。本調査は 40 か国の組織でイノベーションの推進または誘導を担当している 6,600 人のビジネス意思決定者 (BDM) および IT 導入決定者 (ITDM) の回答に基づいています。3 部構成のシリーズで、イノベーション リーダーが成功を収めている主要な領域を確認し、世界中の組織が苦戦している点を探っています。

このエグゼクティブ ブリーフィングで焦点を当てているのは、最初のトピックである、**イノベーション力の向上**です。

1. イノベーション力を向上させる。

AI が普及した世界でリードするために、組織の DNA にイノベーションを組み込む方法。

2. データ インサイトを最大化する。

誰もが成功を収めるイノベーション文化と生産的なワーク エクスペリエンスを創出する方法。

3. 人間とマシンの協調関係を築く。

データがどこにあっても、データに基づいて行動できる、スマートで柔軟性と耐久性の高いインフラストラクチャを設計する方法。

イノベーションの現状

組織にとって将来は不確実であり、6 割近くがイノベーションのペースに追いつくために奮闘しています。リソースを効果的に使用するには、イノベーションの優先順位を調整することが重要ですが、多くの組織では未だ実践されていません。ビジネス リーダーは、このような不確実な経済状況のなか、コスト削減や効率向上、収益の増加など、即時的なニーズに重きを置いています。一方、IT リーダーは、先進的な考え方をしているようで、組織の将来を見据え、AI/生成 AI が持つ変革の力を重視しています。

94% が、組織がイノベーションを成功に導くことを妨げる課題に直面し、最大の障壁が必要なスキルとコンピテンシーの欠如であることを認めています。しかしながら、スキルと人材のギャップ解消はイノベーション目標となる可能性は極めて低いため、現在の人材を引き付けるプログラム、教育プログラム、定着プログラムなどに関する再考や革新を行う機会となるでしょう。

上位のイノベーション目標

1. コスト削減と効率向上
2. 組織の将来への備え
3. 収益の増加
4. AI/GenAI を使用した組織の変革
5. カスタマー / 市民エクスペリエンスの向上

上位のイノベーションの課題

1. 必要なスキル / コンピテンシーを持つ適切な人材の不足
2. データプライバシーとサイバーセキュリティに関する不安
3. 景気悪化による予算 / 投資力の不足
4. 変化を続ける規制環境を管理するための適切なリソースの不足
5. 旧式 / 複雑すぎるテクノロジー環境

上位の改善領域

1. 拡張性のある最新テクノロジーへの投資
2. ビジネス部門と IT 部門の強固な関係
3. データ主導型アプローチの採用
4. 革新的な文化の積極的な醸成
5. 全社規模で周知されたイノベーション プロセスの導入、環境に配慮した持続可能なイノベーションの推進 (同率)

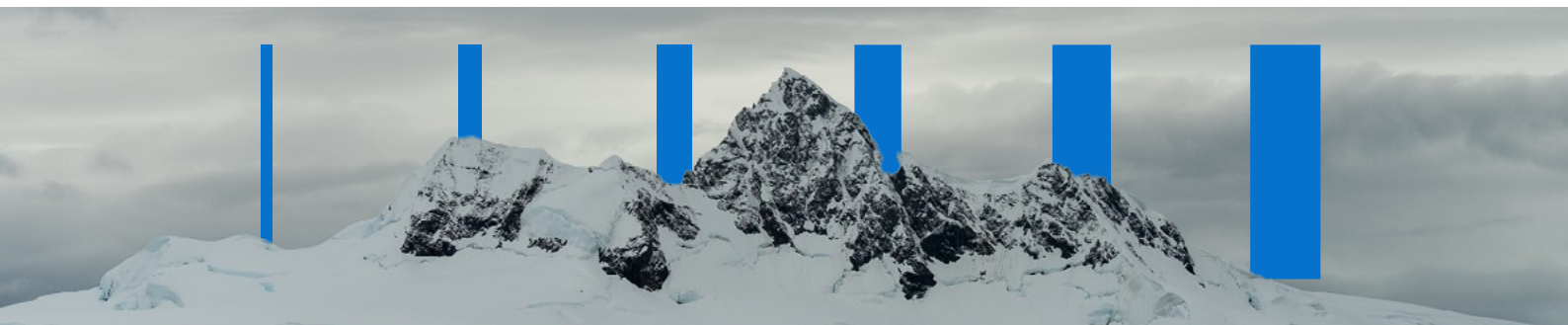
生成 AI、イノベーションの新たな促進剤

組織がイノベーションの課題に取り組む方法の1つは、生成AI(GenAI)を採用することです。これまでの形態のAIとは異なり、生成モデルはコンテキストを理解し、創造的な出力を生み出し、明示的にプログラミングすることなく多様なタスクに対応することができます。81%がAI/GenAIが業界を大幅に変革するという見解に同意、82%が5年以内に人間とマシンの協調関係が強化されるという見解に同意しています。

回答者は、自分自身について考え、GenAIが業務の生産性を向上させ、これまでアクセスできなかったインサイトを発見するのに役

立つと考えています。さらに、組織が最初に目を向ける必要があるGenAI活用領域として特定されたのが、顧客とのやり取り、開発者の生産性の向上、IT運用の合理化です。また、経営幹部は、環境フットプリントの改善にGenAIを利用することにも取り組んでいます。

ただし、GenAIがもたらす機会は膨大ですが、この画期的なテクノロジーは固有の課題も生み出しています。組織は、従業員の準備、適切なデータインフラストラクチャの配備と使用、GenAIの限界やセキュリティに関する理解、倫理面の懸念事項といった困難に直面しています。



IT部門、戦略的パートナー

イノベーションを確実に成功させるためには、ビジネス意思決定者とIT導入決定者が連携する必要があります。しかし、この関係の改善はイノベーションを推進するうえでの改善領域の2位に挙げられているにもかかわらず、それほど単純な問題ではありません。ITDMを重要なビジネスパートナーと考えているBDMは4割しかいません。

BDMは誤った前提に基づいているようです。その前提は以下のとおりです。

- IT部門と組織の他の部門との間にコミュニケーションギャップがあると認識している
- IT部門には時間の制約があると認識している
- IT部門は「現状維持」という古い考え方をしていると認識している

実状は次のとおりです

43% のITDMが、BDMはもっと頻繁にIT部門とコミュニケーションを取ることができると回答しています。

22% が、「時間がない」のはイノベーションを推進するうえでの個人的な課題であると回答しています。

ITDMとBDMが協力して、共通のビジョンと統合アプローチを構築すれば、イノベーション目標をより効率的かつ総合的に達成できる可能性があります。

イノベーション力をともに向上させる

頼りになるイノベーション力の向上は、サイロ化している場合や1回限りの取り組みでは無理です。IT部門とビジネス部門の正規の緊密で戦略的なパートナーシップを確立すると、組織は人、プロセス、テクノロジーをより適切に連携させて、影響の大きい機会に取り組むことができるようになります。しかし、独力で進める必要はありません。デル・テクノロジーズをイノベーションカタリストとすることで、イノベーションの障壁を克服し、新たな可能性を発見し、タイムトゥバリューを短

縮できます。私たちはともにアイデアをイノベーションに変え、イノベーションを成果に変えます。

イノベーション力を向上させる方法について詳しくは、こちらで説明しています。[Dell.com/InnovatorDNA](https://www.dell.com/innovatorDNA)にアクセスすると、その後の、人材の支援とデータからインサイトへの転換に関する、イノベーションリーダーのベストプラクティスについて詳しく知ることができます。